

沿革

- ・昭和 55 年 1 月 名古屋市基本計画策定「障害者福祉センター(総合リハビリテーションセンター)を建設し、相談事業、治療、機能回復訓練、職業訓練など、総納的な機能回復訓練を実施し、社会復帰を促進する。」
- ・昭和 57 年 3 月 名古屋市国際障害者年長期計画提言「障害者に対する総合的で一貫性のあるリハビリテーションの必要性及びその中心となるリハビリテーションセンターの設置が必要である。」
- ・昭和 57 年 8 月 名古屋市身体障害者総合リハビリテーションセンター建設検討委員会設置(会長、助役、委員 16 人)
- ・昭和 58 年 11 月 名古屋市身体障害者総合リハビリテーションセンター基本構想策定
- ・昭和 60 年 2 月 名古屋市身体障害者総合リハビリテーションセンター建設委員会設置(委員長 永井肇 名古屋市立大学教授、委員 20 人)
- ・昭和 60 年度 基本設計
- ・昭和 60 年 6 月 「福祉スポーツセンター」整備決定
- ・昭和 61 年度 実施設計
- ・昭和 62 年 7 月 建設着工。(建設 62、63 年度)
- ・昭和 63 年 7 月 27 日 名古屋市福祉健康センター事業団設立準備総会開催
- ・昭和 63 年 10 月 1 日 名古屋市福祉健康センター事業団設立(理事長 大澤正隆)
- ・平成元年 3 月 23 日 建設工事完了
- ・平成元年 5 月 1 日 名古屋市身体障害者更生相談所がセンター内に移転
- ・平成元年 9 月 21 日 完成式
- ・平成元年 10 月 1 日 事業開始
- ・平成 3 年 10 月 28 日 天皇・皇后両陛下下行幸啓
- ・平成 5 年 5 月 24 日 第 2 代理事長として名古屋市助役竹内正就任
- ・平成 5 年 6 月 1 日 名古屋市地域リハビリテーション事業を受託
- ・平成 6 年 4 月 1 日 事業団名及び施設名変更
(名古屋市福祉健康センター→名古屋市総合リハビリテーションセンター
名古屋市福祉健康センター事業団→名古屋市総合リハビリテーション事業団)
- 初代専任センター長として、名古屋市立大学名誉教授永井肇就任
- ・平成 7 年 7 月 18 日 医療部門増築工事着工
- ・平成 9 年 3 月 31 日 医療部門増築工事完了
- ・平成 9 年 6 月 30 日 医療部門(新病棟)併用開始
- ・平成 9 年 7 月 12 日 なごや福祉用具プラザ事業開始
- ・平成 12 年 4 月 1 日 介護保険事業(通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、居宅介護支援)開始
- ・平成 12 年 4 月 1 日 高齢者住宅改修相談事業の受託

- ・平成 12 年 4 月 1 日 家族介護者教室の受託
- ・平成 12 年 4 月 1 日 障害者生活支援事業の試行
- ・平成 12 年 5 月 24 日 第 3 代理事長として名市屋市助役登内洋人就任
- ・平成 13 年 4 月 1 日 障害者生活支援事業の受託
- ・平成 13 年 4 月 1 日 名古屋市障害者スポーツセンター事業の受託
- ・平成 13 年 4 月 1 日 高次脳機能障害支援モデル事業の開始
- ・平成 14 年 5 月 26 日 第 4 代理事長として名古屋市助役因田義男就任
- ・平成 14 年 6 月 1 日 第 2 代センター長として、名古屋市立大学名誉教授松井宣夫就任
名誉センター長として、永井肇就任
- ・平成 16 年 8 月 2 日 介助犬等相談・認定事業の開始
- ・平成 17 年 4 月 1 日 名古屋市総合リハビリテーションセンターの指定管理者として市と協定の
締結
- ・平成 17 年 4 月 1 日 高次脳機能障害支援事業の管理
- ・平成 17 年 6 月 1 日 第 5 代理事長として前名古屋市健康福祉局長木村剛就任(専任・常勤)
- ・平成 17 年 10 月 1 日 障害者アフターケア事業開始(西部リハビリテーション事業所開設)
- ・平成 18 年 10 月 1 日 第 6 代理事長として前名古屋市シルバー人材センター専務理事小嶋勝就任
(専任・常勤)